

(2014/07/09 15:53), zxcqwe1234jp@yahoo.co.jp wrote:

ダのバビロンに対する従属 は、エホヤキムの在位期間の早い時期に始ったのだが、もちろん、ものみの塔協会の年代計算では、これはうまく当てはまらない。

おはようございます。

上記の文章は 『異邦人の時再考』 — 要旨と抄訳

http://www.jwic.info/gentim_3.htm

のものだと思います。

しかしジョンソン氏の英文を見る限り「ものみの塔協会の年代計算では、これはうまく当てはまらない。」という言葉に該当するものはありませんでした。

ジョンソン氏の主張はバビロンのための70年はネブカドネザルの第一年には始まっており、その時にはユダはバビロニアに従属していたことを聖書自身が示しているというものでした。

しかし ものみの塔の不自然な聖書の解釈により、ジョンソン氏の考察を無効にしている というのがご指摘の部分の要旨だと思います。

ダニエル1, 2章に関するものみの塔の不自然な聖書解釈の動機は直接的にはエレミヤ書との矛盾を解消させるという目的だと思います。

それに加えて

ものみの塔は 古くからバビロン捕囚を BC607 年あるいは BC606 年と主張してしまっているので 今更 バビロン捕囚よりも 18 年も前にユダに従属させていたという新たな話の展開は望んでいないという二次的な動機もあると思います。ラッセル時代から ものみの塔は実際の歴史に架空の 20 年を追加してしまっているので、ジョンソン氏の解説は ものみの塔からすると不必要なものなわけです。

質問の答えとしては

1. ジョンソン氏はダニエル 1 章に関する WT の解釈の愚かさを指摘しているが悪意を主張しているのではない。
2. 恐らく WT の不自然な解釈は 強い意図というよりは 単なる解釈の流れでそうなった。
3. ジョンソン氏の説明のほう明らかに優れているが、今更変更してしまうと 70 年の「従属」に関するジョンソン氏の主張の正しさを目立たせ てしまう。

ということかと思います。参考になれば幸いです。カレブ